

令和7年10月16日

千葉県農林総合研究センター長

I 向こう1か月間の予報

発生量及び発生時期は平年との比較で表す。予想発生量は「多」「やや多」「並」「やや少」「少」で表している。予報の根拠の（＋）は多発要因、（－）は少発要因であることを示す。また、【 】内の数値は左側が9月下旬～10月上旬の発生予察調査のデータ、右側が平年値（過去10年の平均値）を示す。

なお、「並」とは平年値を中心にして40%の度数に入る幅、「やや多」「やや少」は「並」の外側20%の度数に入る幅、「多」「少」は上記3者の外側10%の度数に入る幅である。

また、下表の病害虫を防除する場合は、「千葉県総合防除計画」の該当ページ（※）の「総合防除の内容」を参照するとともに、3ページの「2 個々の病害虫に関する防除上の注意事項」も参考とすること。

千葉県総合防除計画（令和6年3月版）



作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠 (9月下旬～10月上旬の発生予察結果及び気象予報等)	※
夏 秋 ト マ ト	灰色かび病	並	発病株率：やや少【0.00%/2.33%】（－） 気象予報：降水量並か多（＋）日照時間並か少（＋）	31
	すすかび病	並	発病株率：並【29.20%/36.58%】 気象予報：降水量並か多（＋）日照時間並か少（＋）	31
	黄化葉巻病	やや多	発病株率：やや多【8.50%/6.97%】（＋） 成虫寄生株率（タバココナジラミ）：並【14.40%/13.44%】	31
	タバココナジラミ	並	成虫寄生株率（タバココナジラミ）：並【14.40%/13.44%】 成虫寄生株率（オンシツコナジラミ）： やや少【3.60%/17.99%】（－）	33
	オンシツコナジラミ	やや少	9月黄色粘着トラップ誘殺数：やや少【67.80頭/613.19頭】（－） 気象予報：気温高（＋）降水量並か多（－）	
	アザミウマ類	並	成幼虫寄生株率：やや少【0.00%/7.52%】（－） 9月黄色粘着トラップ誘殺数：やや少【2.06頭/21.67頭】（－） 気象予報：気温高（＋）降水量並か多（－）	32
冬 キ ャ ベ ツ	黒腐病	やや多	本年4月発病度：並【0.00/0.10】 発病度：並【0.00/0.25】 気象予報：気温高（＋）降水量並か多（＋）	36

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠 (9月下旬～10月上旬の発生予察結果及び気象予報等)	※
秋冬ネギ	黒斑病	並	発病度：やや少【0.60/3.43】(－) 気象予報：降水量並か多(＋)	<u>33</u>
	さび病	並	発病度：並【0.00/0.01】 気象予報：降水量並か多(＋)	<u>34</u>
	べと病	並	発病株率：並【0.00%/0.40%】 気象予報：気温高(－) 降水量並か多(＋) 日照時間並か少(＋)	<u>34</u>
	ネギアザミウマ	やや少	成幼虫寄生株率：やや少【16.40%/24.07%】(－) 気象予報：気温高(＋) 降水量並か多(－)	<u>34</u>
イチゴ	うどんこ病	並	発病株率：やや少【0.00%/0.34%】(－) 気象予報：日照時間並か少(＋)	<u>42</u>
	ハダニ類	少	寄生株率：少【0.00%/4.80%】(－) 気象予報：気温高(＋) 降水量並か多(－)	<u>45</u>
温州ミカン	ミカンハダニ	やや少	成虫寄生株率：やや少【0.00%/2.46%】(－) 気象予報：気温高(＋) 降水量並か多(－)	<u>28</u>
	カメムシ類	やや少	払落虫数：やや少【0.00頭/0.94頭】(－) 9月予察灯誘殺数：並【10.0頭/34.3頭】 9月フェロモントラップ誘殺数：並【9.61頭/8.07頭】 気象予報：気温高(＋) 降水量並か多(－)	<u>28</u>
ビワ	灰斑病	並	発病葉率：やや少【0.25%/1.83%】(－) 気象予報：気温高(＋) 降水量並か多(＋)	－
カーネーション	アザミウマ類	並	被害株率：並【6.40%/10.91%】 気象予報：気温高(＋) 降水量並か多(－)	－
	ハダニ類	やや少	成虫寄生株率：やや少【0.00%/4.59%】(－) 気象予報：気温高(＋) 降水量並か多(－)	－
野菜・花き共通	コナガ	並	9月フェロモントラップ誘殺数：やや少【0.11頭/0.45頭】(－) 寄生幼虫蛹数(冬キャベツ)：多【0.16頭/0.00頭】(＋) 気象予報：気温高(＋) 降水量並か多(－)	<u>45</u>
	ハスモンヨトウ	やや多	9月フェロモントラップ誘殺数：やや多【30.24頭/27.10頭】(＋) 被害株率(秋冬ネギ)：並【0.00%/0.28%】 〃(イチゴ)：やや多【24.80%/9.13%】(＋) 幼虫寄生株率(夏秋トマト)：並【0.00%/0.04%】 〃(イチゴ)：多【2.67%/1.33%】(＋) 〃(カーネーション)：並【0.00%/0.32%】 気象予報：気温高(＋) 降水量並か多(－)	<u>46</u>
	シロイチモジヨトウ	多	9月フェロモントラップ誘殺数：多【14.04頭/3.71頭】(＋) 被害株率(秋冬ネギ)：やや多【17.20%/5.33%】(＋) 幼虫寄生株率(カーネーション)：多【0.80%/0.08%】(＋) 気象予報：気温高(＋) 降水量並か多(－)	<u>46</u>
	オオタバコガ	やや多	9月フェロモントラップ誘殺数：やや多【5.61頭/3.85頭】(＋) 幼虫寄生株率(カーネーション)：並【0.00%/0.02%】 気象予報：気温高(＋) 降水量並か多(－)	<u>45</u>

* 1 予察灯誘殺数：1か月30日当たりの誘殺数

* 2 フェロモントラップ誘殺数：1日当たりの誘殺数

1 防除に関する措置（共通）

- （１）病害虫は早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。
- （２）発病株及び罹病部位は、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。
- （３）害虫の薬剤抵抗性の発達や耐性菌の発生を防ぐため、同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
- （４）病害虫の発生を予防するため、温湿度管理、防虫網の設置、周辺雑草の除草、輪作や緑肥作物の栽培等の耕種的防除及び物理的防除に努める。

2 個々の病害虫に関する防除上の注意事項

- （１）黒腐病（冬キャベツ）

令和６年度病害虫発生情報第２号「キャベツ黒腐病の発生状況について」も参照する。



- （２）黄化葉巻病・コナジラミ類（夏秋トマト）

令和６年度病害虫発生予察注意報第５号「トマト黄化葉巻病の発生に注意」も参照する。



- （３）ハスモンヨトウ（野菜・花き共通）

令和６年度病害虫発生予報第７号Ｐ４～５「これから注意を要する病害虫」も参照する。



- （４）シロイチモジヨトウ（野菜・花き共通）

令和７年度病害虫発生予察注意報第４号「シロイチモジヨトウによるネギの食害に引き続き注意」も参照する。



- （５）オオタバコガ（野菜・花き共通）

令和７年度病害虫発生予察注意報第２号「オオタバコガの多発生に注意」も参照する。



Ⅱ これから注意を要する病害虫

キャベツ 菌核病

菌核病は、糸状菌（カビ）による病害であり、キャベツ、レタス、ストック、キュウリ等多くの作物に感染する。当課で行っているキャベツの巡回調査における菌核病の発生は、春キャベツでは令和6年4月上旬の調査で「やや多」、冬キャベツでは令和7年2月上旬の調査で「やや多」であった。本病の主な伝染源は、被害残渣又は土中に残った菌核である。この菌核は、条件にもよるが土中で2～3年程度生存する。そのため、前作の品目にかかわらず、近年に本病が発生したほ場では注意が必要である。

キャベツの菌核病は、株元や群落内の通風が悪くなる栽培後半の発生が多く、すでに結球が進んでいる場合、薬剤が株元にかかりにくくなるため、薬剤の効果が出にくい。そのため、薬剤が到達しやすい時期からの予防的防除が最も重要である。

9月22日に発表された気象庁の3か月予報（関東甲信地方）によると、降水量はほぼ平年並、気温は高い見込みである。本菌の適温は20℃前後であり、多湿を好む。そのため、長雨となり、20℃前後の気温が続く場合は、本菌にとって好適な環境となる可能性がある。

<主な発生部位と症状及び伝染経路>

風通しの悪い部位の茎葉や葉柄等で発生する。初期は水浸状の病斑が現れ、白い綿状の菌糸が発生する。その後、被害部は腐敗するが、軟腐病のような悪臭はしない。

菌糸を生じた被害部表面や茎の内部には、黒い球形で直径3～10mm程度の菌核を多数形成する（写真1）。

土中に残った菌核は、子のう盤（キノコ）を形成し、これから子のう胞子が飛散することで感染する（写真2）。また、接触する部位には菌糸で感染する。



写真1 植物体表面の菌核



写真2 土壌表面の子のう盤（キノコ）
（直径3～5mm程度）

<防除方法>

1 耕種的・物理的防除

- (1) 被害株は、菌核ができる前に速やかに抜き取り、ほ場外へ持ち出し処分する。菌核ができてしまったら、菌核が土中に残らないように注意して持ち出す。
- (2) 宿主作物の連作及び輪作を避ける。
- (3) 密植を避け、風通しを良くし、過湿状態にならないようにする。
- (4) 本菌は好気性であるため、田畑輪換や夏季の湛水処理により、土中の菌核を死滅させる。
- (5) 天地返し等で菌核を土中に深く埋め込み、子のう盤の形成を防ぐ。

2 化学的防除

- (1) 発病部位を考慮し、葉の基部や裏側、株元等に薬液が届くように散布する。
- (2) 結球開始期から10日おきに、薬剤（表）を散布する。
- (3) F R A Cコードが異なる薬剤をローテーションで選択する。

表 キャベツの菌核病に対する主な登録農薬（令和7年10月7日現在）

FRAC コード ※	農薬の名称	希釈倍数	使用時期	使用回数
1	トップジンM水和剤	1,000～1,500 倍	収穫3日前まで	2回以内
1	ベンレート水和剤	2,000 倍	収穫7日前まで	6回以内
2	ロブラール水和剤	1,000 倍	収穫7日前まで	4回以内
3	オンリーワンフロアブル	1,000～2,000 倍	収穫前日まで	3回以内
7	アフェットフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで	3回以内
7	カンタスドライフロアブル	1,500 倍	収穫7日前まで	2回以内
7	パレード20フロアブル	2,000～4,000 倍	収穫前日まで	3回以内
11	スクレアフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで	3回以内
11	ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～3,000 倍	収穫3日前まで	3回以内
11	メジャーフロアブル	2,000 倍	収穫3日前まで	3回以内
12	セイビアーフロアブル20	1,000 倍	収穫前日まで	3回以内
19	ポリオキシシンAL水溶剤	1,500 倍	収穫14日前まで	3回以内

※ F R A Cコードとは、殺菌剤の作用機構の分類を表すものである。

注 農薬の使用に当たっては、最新の農薬登録内容を確認し、製品ラベルに記載された使用基準等を守り適正に使用する。

○主要病害虫の発生状況

巡回調査結果（イネ：８月中下旬、果樹・花き：９月下旬、サツマイモ・野菜：９月下旬～１０月上旬）

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
イネ	斑点米	発生粒率（％）	0.32	0.29	0.22	1.7mmでふるい掛けした玄米で調査
	黒点米(黒点症状米を含む)	発生粒率（％）	0.10	0.04	0.12	
	その他着色粒	発生粒率（％）	0.33	0.22	0.20	
サツマイモ (印旛、香取)	ハスモンヨトウ	100葉あたり寄生幼虫数	0.00	0.93	0.50	
	ナカジロシタバ	100葉あたり寄生幼虫数	0.00	0.46	0.25	
	イモキバガ	被害葉率（％）	0.00	1.75	0.00	
夏秋トマト (山武、印旛)	灰色かび病	発病株率（％）	0.00	2.33	0.00	
		発病果率（％）	0.00	0.03	0.00	
		果実発病度	0.00	0.40	0.00	
	すすかび病	発病株率（％）	29.20	36.58	34.67	
	黄化葉巻病	発病株率（％）	8.50	6.97	41.67	
	オンシツコナジラミ	成虫寄生株率（％）	3.60	17.99	3.11	
	タバココナジラミ	成虫寄生株率（％）	14.40	13.44	48.44	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率（％）	0.00	0.04	0.00	
	ハモグリバエ類	幼虫寄生株率（％）	0.00	1.84	0.00	
	アザミウマ類	成幼虫寄生株率（％）	0.00	7.52	0.00	
	コナジラミ類	黄色粘着トラップ誘殺数	67.80	613.19	2,012.72	
	アザミウマ類	黄色粘着トラップ誘殺数	2.06	21.67	4.44	
冬キャベツ (海匝)	黒腐病	発病度	0.00	0.25	0.00	
	コナガ	10株当たり寄生幼虫蛹数	0.16	0.00	0.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率（％）	1.60	0.00	0.00	
秋冬ネギ (山武、長生)	黒斑病	発病度	0.60	3.43	0.00	
	さび病	発病度	0.00	0.01	0.00	
	べと病	発病株率（％）	0.00	0.40	0.00	
	ネギアザミウマ	被害度	19.00	20.82	8.80	
		成幼虫寄生株率（％）	16.40	24.07	18.40	
	ハスモンヨトウ	被害株率（％）	0.00	0.28	0.00	
	シロイチモジヨトウ	被害株率（％）	17.20	5.33	29.60	
	ネギコガ	被害株率（％）	0.00	0.42	0.40	
	ネギハモグリバエ	被害度	3.40	10.87	5.50	
イチゴ (山武、海匝、安房)	うどんこ病	発病株率（％）	0.00	0.34	0.53	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率（％）	3.20	1.80	3.73	
	ハスモンヨトウ	被害株率（％）	24.80	9.13	25.87	
	ハダニ類	寄生株率（％）	0.00	4.80	3.20	
ナシ (県内全域)	黒星病	発病葉率（％）	0.18	0.35	0.03	
	炭疽病	発病新梢率（％）	0.30	0.14	0.00	
	ハマキムシ類	被害葉率（％）	0.00	0.03	0.00	
	ハダニ類	成虫寄生葉率（％）	1.06	0.94	0.94	
	アブラムシ類	成幼虫寄生新梢率（％）	0.00	0.17	0.15	
温州ミカン (安房)	そうか病	果実発病度	0.04	0.17	0.20	
	かいよう病	果実発病度	0.00	0.00	0.00	
	黒点病	果実発病度	0.00	0.73	0.00	
	ヤノネカイガラムシ	成幼虫寄生果率（％）	0.00	0.02	0.00	
	ミカンハダニ	成虫寄生葉率（％）	0.00	2.46	9.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生新梢率（％）	3.80	0.82	0.00	
	ミカンハモグリガ	幼虫寄生葉率（％）	0.00	0.74	1.80	
	カメムシ類	被害果率（％）	0.00	0.04	0.00	
ビワ (安房)		払落虫数	0.00	0.94	0.00	
	灰斑病	発病葉率（％）	0.25	1.83	2.50	
	アブラムシ類	成幼虫寄生葉率（％）	0.00	0.00	0.00	
カーネーション (安房)	カミキリムシ類	被害穴数	0.00	0.25	0.25	
	萎凋症	発病株率（％）	0.00	0.40	0.00	
	立枯病	発病株率（％）	0.80	0.48	0.80	
	アザミウマ類	被害株率（％）	6.40	10.91	0.00	
	ハダニ類	成虫寄生株率（％）	0.00	4.59	2.40	
	オオタバコガ	幼虫寄生株率（％）	0.00	0.02	0.00	
	シロイチモジヨトウ	幼虫寄生株率（％）	0.80	0.08	0.00	
	ハスモンヨトウ	成虫寄生株率（％）	0.00	0.32	0.00	
	その他ヨトウムシ類	幼虫寄生株率（％）	0.00	2.05	0.00	

トラップ月間誘殺数（９月）

区分	調査害虫名	トラップ設置場所	誘殺数			備 考
			本年値	平年値	前年値	
水稲予察灯	ニカメイガ	千葉	44.0	3.4	14.0	頭/月
		香取	3.0	4.4	3.0	
		安房	23.0	3.9	26.0	
	イネクロカメムシ	千葉	19.0	69.4	73.0	
		香取	22.0	14.4	85.0	
		安房	395.0	84.9	284.0	
	クモヘリカメムシ	千葉	2.0	11.3	55.0	
		香取	1.0	5.0	22.0	
		安房	14.0	4.1	28.0	
	ホソハリカメムシ	千葉	0.0	0.3	2.0	
		香取	0.0	0.5	1.0	
		安房	1.0	0.0	0.0	
	シラホシカメムシ類	千葉	0.0	-	0.0	
		香取	0.0	-	0.0	
		安房	0.0	-	0.0	
	イネカメムシ	千葉	46.0	22.4	126.0	
		香取	86.0	24.4	150.0	
		安房	8.0	5.0	38.0	
	ミナミアオカメムシ	千葉	54.0	39.4	200.0	
		香取	6.0	0.7	5.0	
		安房	95.0	48.4	234.0	
	アカヒゲホソミドリカスミカメ	千葉	0.0	3.8	5.0	
		香取	3.0	1.2	3.0	
		安房	1.0	4.9	15.0	
	アカスジカスミカメ	千葉	30.0	63.8	91.0	
		香取	4.0	2.9	13.0	
		安房	20.0	48.6	76.0	
果樹予察灯	チャバネアオカメムシ	〃	6.0	14.1	6.0	頭/月
	クサギカメムシ	〃	1.0	5.1	1.0	
	ツヤアオカメムシ	〃	3.0	15.1	4.0	
性フェロモン	ドウガネブイブイ	印旛、香取	3.15	2.73	1.78	頭/日
	ヒメコガネ	印旛、香取	0.06	0.72	0.02	
	コナガ	海匠、安房	0.11	0.45	0.04	
	ハスモンヨトウ	県内全域	30.24	27.10	26.97	
	シロイチモジヨトウ	県内全域	14.04	3.71	11.32	
	オオタバコガ	県内全域	5.61	3.85	5.41	
	タバコガ	県内全域	2.06	1.45	1.67	
	ナシヒメシンクイ	東葛飾、印旛	1.49	1.99	4.42	
	モモシンクイガ	東葛飾、印旛	0.00	0.02	0.01	
	チャハマキ	東葛飾、印旛	0.03	0.49	0.94	
	チャノコカクモンハマキ	東葛飾、印旛	0.54	0.97	0.81	
チャバネアオカメムシ	チャバネアオカメムシ	県内全域	6.01	6.30	8.62	頭/日
集合フェロモン	ツヤアオカメムシ	〃	3.23	1.13	1.23	
	クサギカメムシ	〃	0.37	0.65	1.91	
	マルボシヒラタヤドリバエ（天敵）	〃	0.14	0.43	0.65	

○気象予報

10月9日気象庁発表

関東甲信地方における向こう1か月間の確率(%)

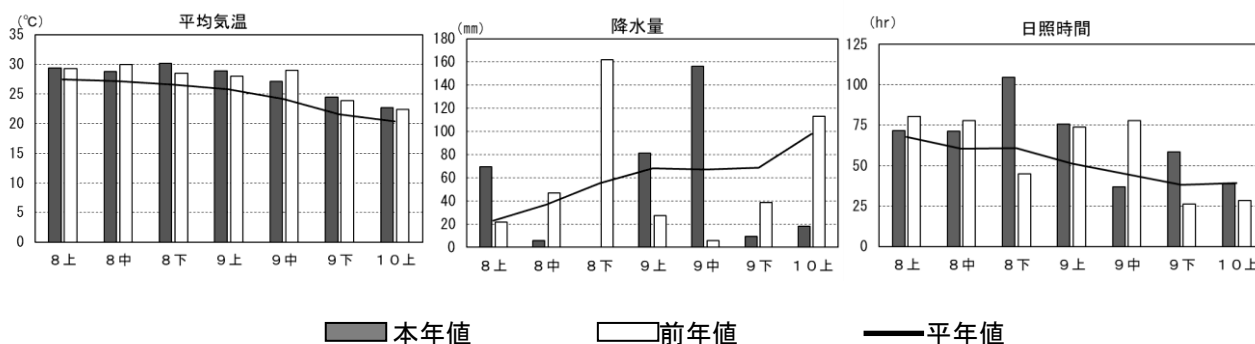
要素	低い・少ない	平年並	高い・多い
気温	10	30	60
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

出典：気象庁ホームページ

向こう1か月間の各気象要素の平年値

(10月11日～11月10日)

要素	千葉	銚子	館山
気温(℃)	16.9	17.7	17.0
降水量(mm)	163.7	210.5	210.7
日照時間(hr)	140.9	143.5	145.4



過去2か月の気象概況(アメダス千葉、銚子地方気象台提供)

農薬は適正に使用しましょう。無登録農薬の使用はできません。

- 農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍数、収穫前日数、総使用回数などが定められています。
- 登録番号のない薬剤は、農薬として使用できません。登録農薬には必ず登録番号が記載されています(記載例 農林水産省登録第〇〇〇号)。
- 農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう。
- 飛散しないよう工夫して散布しましょう。
- 農薬を使用したら必ず記帳するようにしましょう。
- タンクやホースは洗いもれがないようきれいに洗っておきましょう。

- ・ 病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>

- ・ 次回の発行予定は11月14日です。
なお、注意報等の臨時情報は逐次発行されます。

- ・ 県内で栽培される主要な農作物に発生する病害虫や雑草を
防除するための指針が千葉県HPで公開されています。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/shokubo/bojoshishin.html>

- ・ 薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。

<https://pesticide.maff.go.jp/>

問合せ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp

